

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

第 135 号

(2004年 4月)

平成 16 年 8 月 19 日発行

ヒト由来細菌情報

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎患者（1件）よりカンピロバクター（*C. jejuni*）が検出された。

食品由来細菌情報

食中毒情報参照。

環境由来細菌情報

河川水腸管系病原菌調査では O1 & O139 以外のコレラ菌（*V. cholerae* non O1 & O139）2 件が検出された。

茅ヶ崎保健所、秦野保健所および小田原保健所では浴槽水（1件、3件、3件）からレジオネラ（*L. pneumophila*）が検出された。血清型は 1 群（3件）、5 群、6 群、9 群および 1 群、6 群同時検出（各 1 件）であった。

集団発生情報

茅ヶ崎保健所ではウエルシュ菌（*C. perfringens*）を原因とする食中毒が発生した。患者、従業員（便）（26 件）、食品（46 件）および環境（13 件）の調査を行ったところ、患者、従業員（17 件）および食品（1 件）よりウエルシュ菌（Hobbs13 型（エンテロトキシン遺伝子非保有株））が検出された。さらに、患者、従業員（6 件）および食品からはエンテロトキシン遺伝子を保有し、Hobbs の血清型では型別できない株が同時検出された。

茅ヶ崎保健所で発生した有症苦情検査では、患者（便）（4 件）からカンピロバクター（*C. jejuni*）（4 件）が検出された。

神奈川県域でノロウイルスを原因とする食中毒事例が 1 事例あった。原因施設は学生寮であり、便 26 検体を遺伝子検出法で検査したところ、患者及び従事者の便 19 検体からノロウイルスが検出された。

他の自治体で発生した食中毒の関連調査で、便 2 検体からノロウイルスが検出された。

ウイルス情報

検査定点より 1 件、定点外の医療機関より 3 件の無菌性髄膜炎検査依頼があり、定点外の髄液 2 検体からエコーウイルス 18 型が分離された。

おたふくかぜワクチン接種後に無菌性髄膜炎を発症した症例 1 件の髄液検体からムンプスウイルスが分離され、ワクチン株由来のウイルスであることが確認された。

（微生物部・地域調査部）

表 1 ヒト由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年4月)

	平 塚 保 健 所	鎌 倉 保 健 所	藤 沢 保 健 所	小 田 原 保 健 所	茅 ヶ 崎 保 健 所	三 崎 保 健 所	秦 野 保 健 所	厚 木 保 健 所	大 和 保 健 所	足 柄 上 保 健 所	津 久 井 保 健 所	小 計	衛 生 研 究 所	合 計
取り扱い検査件数	631	126	482	1739	273	124	247	276	105	174	187	4364	8	4372
カンピロバクター ジェジュニー					4							4	1	5
ウエルシュ菌					23							23		23

平成16年4月、検査定点より依頼のあった感染性胃腸炎患者の便8件を検査したところ、カンピロバクター (*C. jejuni*) が1件検出された。

平成16年4月には茅ヶ崎保健所でウエルシュ菌 (*C. perfringens*) を原因とする食中毒が発生した。患者、従業員の便26件を検査したところ、計23件のウエルシュ菌が検出された。患者および従業員17件からウエルシュ菌 (Hobbs13型 (エンテロトキシン遺伝子非保有株)) が検出され、また、患者および従業員の便6件からはエンテロトキシン遺伝子を保有し、Hobbsの血清型では型別できない株が同時検出された。

茅ヶ崎保健所で発生した有症苦情検査では、患者の便4件からカンピロバクター (*C. jejuni*) が4件検出された。

表2 食品由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年4月)

	平 塚 保 健 所	鎌 倉 保 健 所	藤 沢 保 健 所	小 田 原 保 健 所	茅 ヶ 崎 保 健 所	三 崎 保 健 所	秦 野 保 健 所	厚 木 保 健 所	大 和 保 健 所	足 柄 上 保 健 所	津 久 井 保 健 所	小 計	衛 生 研 究 所	合 計
取り扱い検査件数	54	3		12	47		16	15	16		4	167		167
ウエルシュ菌					2							2		2

平成16年4月には茅ヶ崎保健所でウエルシュ菌 (*C. perfringens*) を原因とする食中毒が発生したが、検査の一環として、食品の検査も行った。食品46件を検査したところ、食品1件よりウエルシュ菌 (Hobbs13型 (エンテロトキシン遺伝子非保有株)) が検出された。また、食品1件よりエンテロトキシン遺伝子を保有し、Hobbsの血清型では型別できない株が同時検出された。

表3 環境由来検査件数及び病原菌検出状況(検査材料取扱い機関別)

(平成16年4月)

	平 塚 保 健 所	鎌 倉 保 健 所	藤 沢 保 健 所	小 田 原 保 健 所	茅 ヶ 崎 保 健 所	三 崎 保 健 所	秦 野 保 健 所	厚 木 保 健 所	大 和 保 健 所	足 柄 上 保 健 所	津 久 井 保 健 所	小 計	衛 生 研 究 所	合 計
取り扱い検査件数	13		6	57	14		5				24	119	10	129
01 & 0139以外のコレラ菌													2	2
レジオネラ ニューモフィラ 1群				1			3					4		4
レジオネラ ニューモフィラ 5群					1							1		1
レジオネラ ニューモフィラ 6群				2								2		2
レジオネラ ニューモフィラ 9群				1								1		1

平成16年4月、県内定点10ヶ所の河川水腸管系病原菌調査を実施したところ、01 & 0139以外のコレラ菌 (*V. cholerae* non 01 & 0139) 2件が検出された。

県域の保健所で119件の環境由来の検体の検査を行ったところ、小田原保健所で浴槽水(3件)からレジオネラ (*L. pneumophila*) 血清型1群(1件)、6群(2件)、9群(1件)が検出され、そのうち1群及び6群(各1件)は同時検出であった。

茅ヶ崎保健所の浴槽水(1件)から血清型5群(1件)、秦野保健所の浴槽水(3件)から血清型1群(3件)が検出された。

表4 ウイルス検出状況(月別)

(平成16年5月31日現在検出分)

月 検出ウイルス	1 1 月	1 2 月	平成 15 年計	1 月	2 月	3 月	4 月	平成 16 年累計
インフルエンザ AH3		15	92	107	48	4		159
インフルエンザ B			27	1	2			3
コクサッキー A4			5					
コクサッキー A6			1					
コクサッキー A10			8					
コクサッキー A12			9					
コクサッキー B1			4					
コクサッキー B2			1					
エコー 6			1					
エコー 14	1		1					
エコー 18							2	2
エンテロ 71			6					
ムンプス			2				1	1
アデノ 1			1					
アデノ 3		1	1					
アデノ 4	1		3					
アデノ(型未決定)			1					
口 夕			10		1	2		3
小 型 球 形		6	25					
ノ 口	2	31	145	46	18	30	21	115
未同定		1	1					
合 計	4	54	344	154	69	36	24	283

表5 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成16年 5月31日現在検出分）

疾患名 検出ウイルス	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	イン フル エン ザ 様	咽 頭 結 膜 熱	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	急 性 脳 炎	食 中 毒	デ ン グ 熱	そ の 他	合 計
エコー 18							2					2
ムンプス							1					1
ノロ									21			21
合計							3		21			24

平成16年4月には神奈川県域でノロウイルスを原因とする食中毒事例が1事例あった。原因施設は学生寮であり、便26検体を遺伝子検出法で検査したところ、患者及び従事者の便19検体からノロウイルスが検出された。

他の自治体で発生した食中毒の関連調査で、便2検体からノロウイルスが検出された。

以上により、神奈川県域では食中毒事例および関連調査の2事例、計21検体からノロウイルスが検出された。

平成16年4月、検査定点より1件、定点外の医療機関より3件の無菌性髄膜炎検査依頼があり、定点外の髄液2検体からエコーウイルス18型が分離された。

おたふくかぜワクチン接種後に無菌性髄膜炎を発症した症例1件の髄液検体からムンプスウイルスが分離され、ワクチン株由来のウイルスであることが確認された。